



小旦那(Kodanna)便り

GONDO

VOL. 062

今週の「ちょっと気になるチマタの話」。

私もメガネクリーナーが手放せません。一時期マスクと比例してメガネクリーナーも売り切れ状態でしたね・・・(--;)

ちょっと気になる チマタの話

来る9月7日(月)はちょっと苦しい「ク(9)リーナ(7)ー」の語呂合わせから「クリーナーの日」。日本で初めて1959年に「メガネのくもり止め」を開発し、メガネケア用品のパイオニアとして知られる株式会社パールが制定しました。新型コロナウイルス感染症が拡大して以来、マスクを着ける場面が増えて「メガネがくもって困る」という方も多いでしょう。レンズがくもるたびに拭いては手が顔に触れるため感染リスクが上がるのはもちろん、わずらわしいことの上ありません。くもり止めを施しながらメガネの汚れを拭き取り、クリアな視界を保てれば、感染防止になるのみならず目も疲れにくくなるのか。丁寧なケアでレンズのキズも減らすことができれば、メガネを長く使い続けることもできますね。メガネはかけているけれどケアなんて気にしたことなかったという方も、これを機に「メガネクリーナーのある生活」を始めてみてはいかがでしょうか。

手軽に楽しく Let's 英会話

今月のキーワード：【drop-off delivery】

ネットショッピングが盛んになって配達の方は大変だと思いますが、導入が増えている「置き配」で少し楽になるといいですね。この配達方法では盗難も発生しているようですが、意外と米国では一般的です。“I was surprised to find a package at the door when I came home.”「帰ったらドアの前に荷物が置いてあって驚いたよ」「I've heard about drop-off deliveries! Redelivering costs time and money.”「置き配って聞いたことある！再配達の手間暇がかかるもんね」という具合です。

レジ袋の持ち手を固く結びすぎて、ほどけなくなってしまうことがありますね。そんなときはまず、持ち手の片方を何度もねじりまわす。持ち手の部分が細くなるまで十分にねじったら、ねじった先を結び目に押し込みます。これで固かった結び目がほどけますよ。

知って得する知恵袋

いざとなったら役に立つ! ビジネスに使える ネタ話

コロナ禍で業績を伸ばしているのはどんなサービスでしょうか？フードデリバリー、オンライン会議ツール、EC（電子商取引・ネット上での売買）、オンラインでのフィットネスや教育、動画やゲーム、VRイベント



といったインドア娯楽などが活況なのはご存知でしょう。ダメージの大きい業種でも、今までの常識をくつがえす発想で起死回生を狙っています。例えば、外食産業の売り上げ減少に伴い、飲食店向けの野菜が余る状況を打破すべく動いたのは、業務用野菜の卸売り販売を展開する八百屋「フードサプライ」。同社は販売方法を「ドライブスルー」に変更して、全国各地の拠点に「ドライブスルー八百屋」を開店しました。商品は、20種類以上の野菜にお米や卵を詰め合わせた「もったいない野菜セット」（税込5000円）と、お米なしのセット（税込3500円）の2種類です。基本はネット予約で、その際には全国20カ所にある受け取り場所と日時を選択します。それが1日に1000セット以上も売れたことがあるほどの盛況ぶりだとか。今後は受け取り場所を増やしてさらに拡大していくようです。